

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 17号)

平成31年 3月14日発行
 兵庫のみ研究所

ここ数日吹いた西寄りの風による時化後の調査でした。また下げ潮時ということもあり、窒素は陸水等の影響を受けていた調査地点を除き、江井ヶ島以西の漁場で概ね $1 \mu\text{g-at/L}$ 台、林崎漁場中央部以東で概ね $2 \sim 3 \mu\text{g-at/L}$ 台の値でした。珪藻は、海域西部域を中心にキートセロスを中心としてリゾソレニア等数種が見られますが、この海域全般には少ない状況にあります。

(水温) 漁場内平均 10.5°C 。平年比 1.1°C 、昨年比 1.7°C それぞれ高い。(塩分) 平均 31.23psu 。前回(31.95)より約 0.7psu 低い。
 (栄養塩、珪藻) 二見西部以西の海域でキートセロス・スケルトネマ・リゾソレニア等数種の珪藻がやや多く確認されたが、細胞内の色素は薄く形態も崩れかけており活力は低いと所感される。それ以外の海域ではこれら珪藻は少なく東部域への大きな拡散は見られない。今回調査では、二見漁場から林崎新漁場西部にかけて窒素は $1 \mu\text{g-at/L}$ 台と低い値であったが、明石海峡部周辺海域の窒素は $3 \mu\text{g-at/L}$ 台を維持しており、植物プランクトンの発生も少ないことから、この海域全体の栄養塩は概ね前回(3/6)調査並の状況にあると推測される。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.1	10.5	9.4	8.8
窒素	2.9	2.9	3.2	4.6
リン	0.31	0.29	0.29	0.35

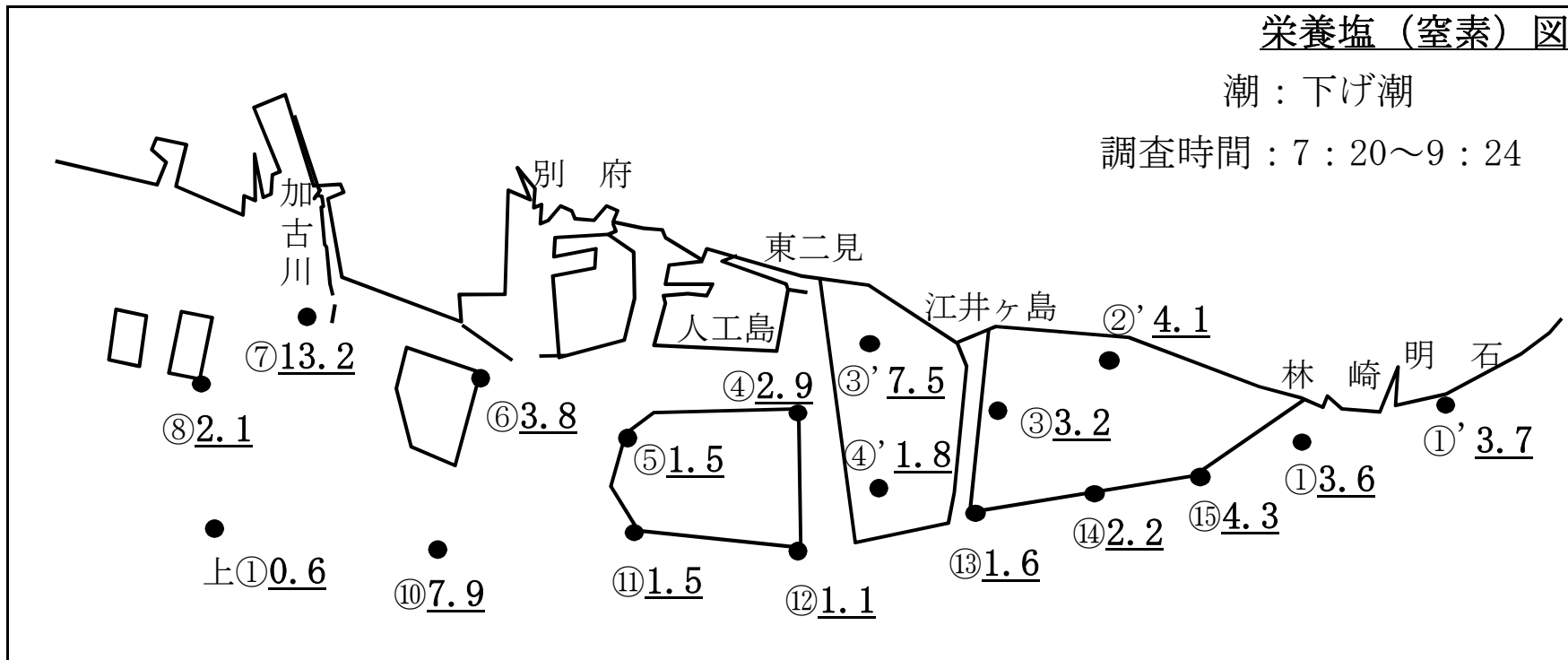
(3/6) (3/13)

平成31年 3月14日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:20~9:24



水温図

